

## 平成28年度事業計画

本年度も引き続き、「日常生活ができなくなって困っている人や、脆弱な高齢者、障害者、子育てなどで手助けを必要とする人たちの、生活課題に資することを目的に必要な事業を行う」というお助け隊の理念をもって、下記の各種支援を実施していきます。

1. 病気やケガで、今まで普通にできていたことが、できなくなった人の困りごと
2. 一人暮らしの身体が弱ったお年寄りの困りごと
3. 脆弱な高齢者夫婦世帯の困りごと
4. 乳児を抱え相談相手もなく孤立した若いお母さんの困りごと
5. 介護保険の認定を受けていない方の、日常生活の困りごと
6. 介護保険の認定を受けている方の、生活課題
7. 協力会員の生きがいと会員同志の助け合い。
8. 地域課題の解消推進

### 1. まちサポ「お助け隊」活動計画

#### (1) 事業計画書 別紙参照

# 事業計画書（その1）

事業実施予定期間 2016年4月1日～2017年3月31日

補助対象年度の事業スケジュール（具体的な取り組み、実施場所等）

月	内 容	備 考
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>● お助け隊通常の支援活動</li> <li>● 定例総会</li> <li>● 総務・広報・コーディネーターのためのパソコンスキルアップのため、パソコン教室受講</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 利用者 自宅</li> <li>● 公民館 まちづくりサ ポートセンタ ー</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>● お助け隊通常の支援</li> <li>● BBQ&amp;パーティー親睦定例会議</li> <li>● 協力会員のお助け隊特別研修</li> </ul>	同上
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 定例会議での近況の報告等により問題点、情報の共有化により、サービスの均一性を保持</li> <li>● お助け隊通常の支援活動</li> <li>● <b>協力会員募集説明会イベント</b></li> <li>● 協力会員のお助け隊特別研修</li> </ul>	同上
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>● お助け隊通常の支援活動</li> <li>● 総務・広報・コーディネーターのためのパソコンスキルアップのため、パソコン教室受講</li> </ul>	同上

8	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ひまわりフェスティバル出店 会員募集</li> <li>● お助け隊通常の支援活動</li> <li>● 納涼会</li> <li>● 社会福祉協議会との意見交換会開催</li> </ul>	同上
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 協力会員のスキルアップ研修（出前講座等を検討）</li> <li>● *高齢者支援課</li> <li>● 総務・広報・コーディネーターのためのパソコンスキルアップのため、パソコン教室受講</li> </ul>	同上
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>● お助け隊通常の支援活動</li> <li>● 産業祭出店 会員募集</li> <li>● 協力会員の情報共有化のための、IT研修</li> </ul>	同上
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 文化祭出店 会員募集</li> <li>● お助け隊通常の支援活動</li> <li>● 会員のスキルアップ研修（未定）</li> <li>● コーディネーター養成プログラム</li> </ul>	同上
12	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 定例会議での近況の報告等により問題点、情報の共有化により、サービスの均一性を保持</li> <li>● お助け隊通常の支援活動</li> <li>● 協力会員の情報共有化のための、IT研修</li> </ul>	同上
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>● お助け隊通常の支援活動</li> <li>● 新年会</li> </ul>	同上

2	<ul style="list-style-type: none"><li>● お助け隊通常の支援活動</li><li>● 協力会員の情報共有化のための、IT 研修</li></ul>	同上
3	<ul style="list-style-type: none"><li>● お助け隊通常の支援活動</li></ul> 協力会員の情報共有化のための、IT 研修	同上

# 事業計画書（その2）

## 今後の課題

### 1. 共働き・母子、父子家庭の支援

- ① 学童、保育園時間外の児童の送迎
- ② 家内の掃除・片付け等
- ③ 産前産後の育児ケア

### 2. 協力会員・コーディネーターの養成・入会の推進

- ① 会員の増員と高齢化問題の解消
- ② 地域の生活弱者に対し余力を持つものが助け合う等の住民相互の協力意識を育てる。
- ③ 会の運営役員の人材の発掘・養成

### 3. 運営の業務改革

- ① 業務（コーディネーター・会計・広報・総務・理事）の分担化
- ② システムの簡素化・改革・研修

### 4. 協力会員スキルアップ研修

### 5. 移動サービスの急増に対する対応の急務

### 6. 協力会員の情報の共有化と利用者の守秘義務の徹底

### 7. 関係団体・行政との連携

### 8. 利用会員のニーズの把握のためのアンケート調査

### 9. まちサポ「お助け隊」の法人化

### 10. まちサポ「お助け隊」事務所の新設

# 事業計画書（その3）

## 1. 取り組もうとする課題

1. 一時的に病気やケガで、今まで普通にできていたことが、できなくなった人の困りごとに対応
2. 脆弱な高齢者、一人暮らしの身体が弱ったお年寄りの困りごと
3. **共働き・母子、父子家庭の支援**
  - ① 学童、保育園時間外の児童・園児の預かりと送迎
  - ② 家内の掃除・片付け等
  - ③ 産前産後の育児ケア
4. **障害者への支援**
5. 地域の生活弱者に対し余力を持つものが助け合う等の住民相互の協力意識を育てる。
6. 協力会員・コーディネーターの入会の推進
  - ① 会員の高齢化問題の解消
  - ② 会の運営役員の人材の発掘・養成
    - \* 女性役員を増やす（女性の意見を取り入れていく必要）
7. コーディネーター業務改革
  - ① コーディネーターの養成（3人を目指す）
    - \* 養成無くして会の存続は不可
    - \* 養成研修プログラムの充実
  - ② 業務量が多く負担の軽減のための分散化
    - \* H26年度からの急激な支援件数の増加に対応
  - ③ システムの簡素化（受注、発注、会計処理）
    - \* 業務の簡素化が無ければ新コーディネーターの養成が困難
8. 協力会員スキルアップ研修
  - ① 出前講座による研修

② 会員による実技研修

③ その他の講座研修

9. 協力会員の情報の共有化と守秘義務の徹底

10. 関係団体・行政との連携

利用会員のニーズの把握のためのアンケート調査

\*現在実施中

## 2. 事業の効果や成果、波及効果など

1. 困りごと生活課題をもった人に、その人自らの内にある生きる力を引き出すような立場で支援します。
2. 体力、気力を残したりタイヤ人材を「地域」課題解消に取り組むことにより、本人の生きがい、地域と連携を持つことができる。
3. 生活弱者への安全で安心の割安の料金での経済面の支援効果
4. 高齢者世帯の自立を支える効果
5. 子育て世帯の共働き、精神的な支え

## 3. 事業の優れている点（先駆性・独創性・専門性など）

1. 有償であることが協力会員の負担も少なく、永続的に協力ができ、またサービスする方も責任をもって行うことができる。また利用者も気兼ねなくサービスを受けることができる。
2. 手続きが簡単でスピーディに対処できる
3. すべて手続きから集金までドア to ドアで行うことで、利用者にやさしい対応をとっています。
4. ボランティアの性格を有するため、サービス時間, 量等で柔軟性を持って対応できる。
5. またキャンセル・変更等も気軽にできる
6. まちづくりサポートセンターの会員団体であることで、安心して利用することができる

## 4. 他の団体との連携・協力



1. **行政（地域づくり課）・福祉事務所**：他の団体、組織との仲介役を依頼、また協力会員・コーディネーターの募集の協力を広報等をお願いしたい。  
お助け隊の組織が盤石の折には更なる連携、**お助け隊の定例会議に職員の出席をお願いして**協働を取っていきたい。
2. **社会福祉協議会**：生活支援では「お助け隊」と一致しているサービスあり、また福祉移動サービスでもお助け隊のメンバーが協力会員として登録することで、協力できる要素はあります。
3. **地域包括支援センター**：お助け隊コーディネーターは利用者との接点が多くあります。多くの情報を得ることができます。情報の共有化ができると思います。
4. **障害者施設**：現在も派遣等で介護補助を実施していますが、今後も支援を続けていく。
5. **高齢者支援課**：お助け隊のサービスが当課の課題と一致しているところが多くあると思いますので、連携をとりながら協働を行いたい。また**当課の支援要員の募集にも協力していく**。コーディネーター、協力会員は高齢の利用者との接点が多くあり、**お助け隊の定例会議に職員の出席をお願いして**困りごと・ニーズの情報を共有したい。
6. **子育て支援課**：現在も産前産後の悩み、**共働き世代の学童・園児の預かり・送迎の依頼があります**。協働できる場所があると思います。
7. **民生委員**：コーディネーターは高齢者の利用者と申し込み時、集金時での話し合いを通して状況がわかります。情報を共有できると思います。
8. **区長会**：お助け隊の存在をアピールして、利用者、協力会員の募集をお願いしたい。

## 5. 事業のPR方法

1. チラシ、市広報、ホームページ、ポスター

2. 市のイベントに積極的の参加し、会員募集をはかる
3. まちサポートセンターの団体会員・市の住民協働事業でもあり、信頼度も高い。